

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月22日

【評価実施概要】

|       |                                      |       |            |
|-------|--------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 0972400261                           |       |            |
| 法人名   | 医療法人翼望会                              |       |            |
| 事業所名  | グループホームひかり                           |       |            |
| 所在地   | 栃木県佐野市葛生東1-15-9<br>(電話) 0283-84-1101 |       |            |
| 評価機関名 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会                     |       |            |
| 所在地   | 栃木県宇都宮市若草1-10-6                      |       |            |
| 訪問調査日 | 平成21年12月14日                          | 評価確定日 | 平成22年1月22日 |

【情報提供票より】(平成21年11月28日事業所記入)

(1) 組織概要

|       |           |                             |     |
|-------|-----------|-----------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成16年4月1日 |                             |     |
| ユニット数 | 1 ユニット    | 利用定員数計                      | 9 人 |
| 職員数   | 9 人       | 常勤8人(兼務1名), 非常勤2人, 常勤換算6.7人 |     |

(2) 建物概要

|      |                 |  |  |
|------|-----------------|--|--|
| 建物構造 | 木造<br>1階建ての1階部分 |  |  |
|------|-----------------|--|--|

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                 |            |            |   |       |
|-----------------|------------|------------|---|-------|
| 家賃(平均月額)        | 22,800 円   | その他の経費(月額) | ・水道光熱費—15,000円<br>・日用品・共益費—10,200円<br>・理美容代、おむつ代、その他個人的な費用—実費 |       |
| 敷金              | 無          |            |   |       |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 無          | 有りの場合償却の有無 | —   |       |
| 食材料費            | 朝食         | 400 円      | 昼食  | 500 円 |
|                 | 夕食         | 500 円      | おやつ   | 100 円 |
|                 | または1日当たり 円 |            |   |       |

(4) 利用者の概要(平成21年11月28日現在)

|       |     |      |     |      |     |      |
|-------|-----|------|-----|------|-----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性   | 1 名 | 女性   | 8 名 |      |
| 要介護1  | 1 名 | 要介護2 | 2 名 |      |     |      |
| 要介護3  | 1 名 | 要介護4 | 4 名 |      |     |      |
| 要介護5  | 1 名 | 要支援2 | 名   |      |     |      |
| 年齢    | 平均  | 91 歳 | 最低  | 85 歳 | 最高  | 98 歳 |

(5) 協力医療機関

|         |                      |  |  |
|---------|----------------------|--|--|
| 協力医療機関名 | 医療法人翼望会 長島病院、佐野医師会病院 |  |  |
|---------|----------------------|--|--|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、佐野市葛生庁舎や美術館、保育所に近い閑静な場所に位置している。ホームの敷地内には、同法人の介護老人保健施設があり、道路を挟んだ向かい側には母体法人で協力医療機関でもある医院がある。母体法人が往診等を行う中で把握した利用者からのニーズにより、訪問看護や居宅介護支援事業を行うようになり、平成16年に当ホームを開設し、翌年には介護老人保健施設を立ち上げている。ホームでの運営推進会議には、入居者の全家族に参加を依頼しており、参加困難な場合には会議録を送付したり、年2回の家族交流会を開催するなど家族との接点づくりに努めている。ホームのほとんどの職員は認知症介護実践研修を受講しており、今年度は認知症介護リーダー研修に職員を派遣するなど、人材育成にも力を入れている他、職員は、入居者一人ひとりの要望に沿った支援に努めているホームである。

【重点項目への取組状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)<br>外部評価の結果については、運営推進会議で報告を行い、意見を出してもらい、記録の書き方など、できることから改善を図っている。  |
|       | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>今回の自己評価は、管理者が作成した評価票を職員に見てもらい、職員の意見を聞きながら更に管理者がまとめあげた。  |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>運営推進会議は、入居者、入居者家族、民生委員等の参加により開催をしている。会議では、ホームの運営状況や入居者の様子等を報告し、参加者から意見やアドバイスをもらい、サービスの向上に活かしている。家族の会議への参加は毎回1~2名だが、入居者家族全員に会議録を送付している。 |
|       | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br>家族が来所した際に意見や苦情等を聴取するよう努めている他、家族の交流会や運営推進会議への参加の呼びかけを行い、意見や苦情を出し易い関係づくりや機会づくりに努めている。また、ホーム内に意見箱を設置して意見や苦情等の把握に努めている。                         |
| 重点項目③ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>入居者は散歩や買い物に出かけた際に近隣住民と声を掛けあったり、野菜や花をもらうなどしている。地域で開催される納涼祭等の行事にも参加している他、学校行事の一貫としての児童生徒の来訪がある等、地域との相互交流に努めている。自治会には、法人として加入している。                          |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>           |      |   |   |                      |  |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |   |   |                      |  |
| 1                            | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 運営方針として「その人らしく暮らす家」という基本理念を掲げ、入居している認知症高齢者が安心と尊厳のある生活を送れるよう、地域と交流を図りながら支援している。  |                      |  |
| 2                            | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 玄関や相談室等に理念や運営方針を掲示しており、日常の支援や毎日の朝礼、日中に開くカンファレンス等で入居者の情報や課題等を共有しながら理念の実践にむけた支援に取り組んでいる。  |                      |  |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |   |   |                      |  |
| 3                            | 5    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 入居者は散歩や買い物に出かけた際に近隣住民と声を掛けあったり、野菜や花をもらうなどしている。地域で開催される納涼祭等の行事にも参加している他、学校行事の一貫としての児童生徒の来訪がある等、地域との相互交流に努めている。自治会には、法人として加入している。 | ○                    | 事業所で行事を開催する際には、地域住民にも参加を呼びかけており、多数の来所がある。しかし、日常的には地域住民の来所は少ない状況であるとのことから、運営推進会議等を利用して、地域住民との日常的な交流が更に図られることを期待したい。 |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |   |   |                      |  |
| 4                            | 7    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 外部評価の結果については、運営推進会議で報告を行い、意見を出しながら、記録の書き方など、できることから改善を図っている。今回の自己評価は、管理者が作成した評価票を職員に見てもらい、職員の意見を聞きながら更に管理者がまとめあげた。              |                      |  |

グループホームひかり

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5                      | 8    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 運営推進会議は、入居者、入居者家族、民生委員等の参加により開催をしている。会議では、ホームの運営状況や入居者の様子等を報告し、参加者から意見やアドバイスを出してもらい、サービスの向上に活かしている。家族の会議への参加は毎回1～2名だが、入居者家族全員に会議録を送付している。 | ○                    | 今後は、運営推進会議に市担当職員や地域包括支援センター職員、民生委員や自治会等の地域住民、警察や消防署員等にも参加を呼びかけ、地域との交流の推進や合同の防災訓練の実施等、運営推進会議が更にホームの運営に役立つためにも参加者や議題の検討を期待したい。 |
| 6                      | 9    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 市担当職員からは、ホームの運営に関する事や報告書の提出、医療連携等に関する助言をもらっている。また、ホームの広報紙を送付するなど連携に努めている。   | ○                    | 市担当職員に運営推進会議への参加を依頼し、ホームの現状や課題を把握してもらおう等、更に連携を深めていくことに期待したい。   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                      |  |
| 7                      | 14   | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 家族への入居者の生活状況や健康状態の報告は、毎月の利用料等の請求時に近況報告の手紙を添えている他、面会時にも報告を行い連絡事項も伝えている。また、家族の交流会や行事等で来所した際や必要に応じて電話等での報告もしている。                             | ○                    | ホームでの入居者の生活状況や行事の開催状況、職員の異動等については、広報誌を用いた報告も有効であることから、広報誌の発行頻度や内容についての検討を図ることを期待したい。   |
| 8                      | 15   | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族が来所した際に意見や苦情等を聴取するよう努めている他、家族の交流会や運営推進会議への参加の呼びかけを行い、意見や苦情を出し易い関係づくりや機会づくりに努めている。また、ホーム内に意見箱を設置して意見や苦情等の把握に努めている。                       |                      |  |
| 9                      | 18   | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動や離職時には、該当職員は入居者一人ひとりに挨拶をしており、必要に応じて管理者や他の職員が入居者にダメージを与えないよう支援をしている。異動は隣接する同法人の介護老人保健施設との人事交流であり、異動後も入居者とは運動会や納涼祭等をとおして交流があるため不安は少ない。 |                      |  |

グループホームひかり

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------|---|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |  |  |                      |   |
| 10                               | 19   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                  | 大部分の職員が認知症介護実践研修を受講している他、その他の外部研修も積極的に受講している。また、研修の受講後は参加報告書を作成し、資料と共に回覧しており知識の共有化に努めている。内部研修は職員会議等を活用して勉強会を開き、情報を共有しているが、管理者はさらに充実を図りたいと考えている。              | ○                    | 外部研修には積極的に参加をしており、知識の共有にも努めているが、今後は、内部研修において課題や講師を各職員が担う様な勉強会を開催するなど、計画的に人材の育成を図っていくことを期待したい。 |
| 11                               | 20   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている        | 全国及び県のグループホーム協会に加入している。管理者は近隣のホームと電話での意見交換はしているが、職員間での交流は行われていない。今後、管理者は市内及び近隣の他ホームと情報交換会を開き、更にサービスの質の向上を図りたいと考えている。   | ○                    | ホームでのサービスの質を向上させていく取り組みとして、市内外の他ホームとの職員も交えた情報交換会や相互訪問の実現に向けたネットワーク作りを検討していくことを期待したい。          |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |      |  |  |                      |   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |  |  |                      |   |
| 12                               | 26   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居に際しては、本人にホームにお茶を飲みに来てもらい、他の入居者ともコミュニケーションを図りながら、ホームの雰囲気を感じてもらっている。また、自宅や既にサービスを利用している施設等に出向き、本人や家族、利用施設の職員から話しを聞く等、入居者の情報の把握に努めており、入居者が早くホームに馴染めるよう支援している。 |                      |   |
| 13                               | 27   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                         | 職員は、入居者の趣味や特技等の把握に努め、食事づくりや後片付け、洗濯物のたたみ等を入居者と一緒に行っている。また、入居者から昔ながらの生活の知恵や料理づくり、季節ごとの行事や畑仕事等を教えてもらいながら共に支え合う関係を築いている。   |                      |   |

グループホームひかり

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |      |   |   |                      |                                  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |   |                      |                                  |
| 14                                    | 33   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 職員は、入居者との日々の会話や様子から、意向の把握に努めている。また、家族からの情報や過去の生活歴等を参考にしながら、職員間でカンファレンスを開き、できるかぎり本人の意向に沿うよう努めている。  |                      |                                  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |   |                      |                                  |
| 15                                    | 36   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 介護計画は、本人や家族の意向を聞いたうえで、担当職員が全職員から意見をもらい、計画作成担当者や当番職員でカンファレンス会議を開き、検討のうえ作成をしている。また、医師等からの指示がある場合には、それらを反映させている。   |                      |                                  |
| 16                                    | 37   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 入居当初は2週間の暫定的な介護計画を作成し、その後3ヶ月、6ヶ月と目標期間を定め、定期的に介護計画の見直しをしている。その後、状態の変化が生じた場合は、家族の意見を聴取したうえで、随時見直しをしている。また、見直しにあたっては、カンファレンスや職員会議、申送りノート等で職員間での情報の共有化も図っている。 |                      |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |   |                      |                                  |
| 17                                    | 39   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 入居者一人ひとりの意向を聞き、職員と買い物に出かけたり、昔なじみの所に出かけたり、家族が通院の付き添いができない場合等には、職員が付き添ったりと柔軟な支援に努めている。また、同法人の訪問看護ステーションから週1回看護師が訪問してくれる体制になっている。                            |                      |                                  |

グループホームひかり


| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 18                                 | 43   | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 道路を挟んでホームの協力医療機関となっている母体法人の医院がある。入居に際しては、本人や家族の意向を聞きながら主治医を決めているが、大部分の入居者は、協力医療機関を主治医としている。また、当該医院には職員の付き添いで受診をしている。その他のかかりつけ医等での受診の際は、家族に付き添いをお願いしている。      |                      |                                   |
| 19                                 | 47   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ホームでは重度化した場合の指針が作られており、入居時に家族へ説明をしている。医療依存度が高くなった場合等には、ホームでの対応には限界があることを説明している。これまでにホームでの看取りの例はない。   |                      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |  |                      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |      |   |  |                      |                                   |
| 20                                 | 50   | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | ホームとしての個人情報保護方針を定めており、ホーム内に掲示している。入居者のプライバシーに配慮して、各居室のドアの明り取り窓にはカーテンをつけている他、入り口にネームプレートは付けておらず、花や人形を付けるなどしている。また、入居者の呼び名についても配慮がなされている。個人記録等の書類は事務室内で管理している。 |                      |                                   |
| 21                                 | 52   | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 大まかな一日の流れはあるが、起床や入浴、食事にかかる時間等については、本人のペースで行える様、柔軟に対応している。入居者との会話や見守りの中から、本人の希望等を引き出し、一人ひとりにあった支援ができるよう努めている。   |                      |                                   |

グループホームひかり

| 外部評価                                 | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |  |
| 22                                   | 54   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 職員が入居者一人ひとりの好みを把握している他、入居者自身のできることに配慮しながら、調理、テーブル拭き、後片付け、茶碗拭きなどを一緒に行っている。季節によってはホームの畑で収穫した野菜で調理をしたり、店屋物を取ったり、外食したりしている。職員は入居者と同じものを会話をしながら食事している。 |                      |  |
| 23                                   | 57   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している        | 入浴は午後4時からと夕食後の時間帯であることが多いが、一人ひとりの希望に合わせて、他の時間帯での入浴もできるよう支援に努めている。   |                      |  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |  |
| 24                                   | 59   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事時の準備や片付けの手伝い、季節による畑仕事、花の世話等、入居者のできることや自主性を大切にしながら支援している。また、ちぎり絵、書道、裁縫、計算等を行っている他、散歩や買い物、外食、初詣に出掛ける等、気晴らしの支援をしている。                               |                      |  |
| 25                                   | 61   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | ホーム周辺の散歩、市内への買い物や近隣へのドライブ等、外に出る機会を設けており、入居者への声掛けを積極的に行う他、コミュニケーションにも努め、一人ひとりの要望に沿った外出支援に繋げている。  |                      |  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |      |   |   |                      |  |
| 26                                   | 66   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | ホームの玄関や各居室の施錠はしておらず、入居者は敷地内を自由に散策できる様になっているが、門扉は施錠されている。  | ○                    | 地域住民が気軽にホームに立ち寄れる等、さらに地域に開かれた施設にしていくためにも、入居者の外出傾向の把握や見守りにより、門扉の開錠や施錠時間等を今後も検討していくことに期待したい。 |

グループホームひかり

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 27                               | 71   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 本年度は、避難、消火、通報等の防火訓練を2回実施予定(内1回は実施済み)であるが、夜間時を想定した訓練や地域住民への訓練への協力依頼などは行っていない。  | ○                    | 今後は、避難訓練等において、職員の人数が減る夜間時を想定したり、運営推進会議等を活用するなどして、ホームでの有事の際における地域住民との協力体制の構築に向けた取り組みに期待したい。 |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |      |   |   |                      |  |
| 28                               | 77   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 入居者の好みにも配慮しながら職員が献立を作成し、法人の管理栄養士にカロリーやバランスを確認してもらっている。食事の摂取量については個別に記録している他、水分摂取についても様子を見ながら少ないと思われる方には、その都度、摂取を促しており、個別に適正な水分摂取を図っている。 |                      |  |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>   |      |   |   |                      |  |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>            |      |   |   |                      |  |
| 29                               | 81   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間と食堂が同一スペースとなっており、入居者一人ひとりが思い思いの場所で過ごしている。壁には、行事の時の写真や入居者の作品であるちぎり絵や書道、計算書等が掲示されていた。共用空間には不快な音や光、臭い等は感じられなかった。                         |                      |  |
| 30                               | 83   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 本人及び家族には、入居者が自宅で使い慣れた家具等を持ち込める事を入居時に伝えてあり、箆箆やテレビ、冷蔵庫等を持ち込んでいる入居者もいるが、全体的に持込んでいる量は少ない。新聞を自費で購入している入居者もいる。                                |                      |  |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。